○ソフト対策の主な取組（*主な内容と実施する機関*）

資料7-1

具体的な取組の柱 / 事項 / 具体的取組	主な内容	目標時期	関係機関														地域住民	R7までの達成状況（R7.11時点）
			福島市	郡山市	須賀川市	二本松市	伊達市	本宮市	桑折町	国見町	大玉村	鏡石町	矢吹町	玉川村	県	国		
①住民の主体的で安全な『避難』を促すためのきめ細やかなリスクコミュニケーション																		
■平時のリスク情報周知や防災教育等に関する事項																		
1 現行	・想定最大規模降雨による浸水想定区域図の更新（阿武隈川の国管理区間、県管理区間のうち水位周知河川）【拡大】	・阿武隈川（国管理）浸水想定区域図を策定・公表・更新する。 ・県管理区間のうち、水位周知河川について、H28年度から浸水想定区域図の策定・公表・更新を進める。	【国】実施中 【県】R2年度までに30河川策定公表	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	●	● 東北地整	活用	【県】R6年度で全63河川公表済み。 【国】公表済み。 ⇒継続（必要に応じて更新）
1 更新（案）	浸水想定区域図の策定・公表・更新【継続】	浸水想定区域図の策定・公表・更新を進める。	継続的に実施	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	●	● 東北地整	活用	
新規（案）	多段階浸水想定図及び水害リスクマップの更新【新規】	多段階浸水想定図及び水害リスクマップの更新を進める。	令和8年度から順次実施	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	● 東北地整	活用	
新規（案）	支川や内水を考慮した複合的な水害リスク情報（内外水統合型水害リスクマップ）の作成【新規】	内外水統合型水害リスクマップを作成する。	令和7年度から順次実施	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	● 東北地整	活用	
2 現行	・支川や内水を考慮した「複合的なハザードマップ」の作成・周知【拡大】	・支川や内水を考慮し、広域避難等を反映した洪水ハザードマップを作成・周知する。	実施中 （今後更新・改定を実施）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	作成支援	活用	【市町村】全市町村で作成・周知活動を実施。 ⇒継続（必要に応じて更新・改定）
2 更新（案）	支川や内水を考慮した「複合的なハザードマップ」の作成・周知【継続】	支川や内水を考慮し、広域避難等を反映した洪水ハザードマップを作成・周知する。	継続的に実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	作成支援	活用	
3 現行	・まるごとまちごとハザードマップにおける地域住民等への洪水情報の普及【新規】	・まるごとまちごとハザードマップ等、日常生活上で認識されやすく、防災に興味がない人でも浸水深や避難所等の情報を得られるよう整備する。	実施中 （今後実施を検討）	●	－	○	●	●	－	－	－	－	●	－	－	ー	－	活用	【市町】一部の市町でまるごとまちごとハザードマップを整備。周知活動を実施。 ⇒継続
3 更新（案）	まるごとまちごとハザードマップにおける地域住民等への洪水情報の普及【継続】	まるごとまちごとハザードマップ等、日常生活上で認識されやすく、防災に興味がない人でも浸水深や避難所等の情報を得られるよう整備する。	継続的に実施	●	－	○	●	●	－	－	－	－	●	－	－	ー	－	活用	
4 現行	・町内会等、限られた地域の洪水リスクや水位情報の確認方法の周知【拡大】	・町内会等、限られた地域毎での特性を反映した、各地での洪水リスクや避難方法について広報誌等により周知する。	実施中 （今後更新・改定を実施）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	● 東北地整	活用	【市町村】【県】【国】説明会や広報誌等の周知活動を実施。 ⇒継続
4 更新（案）	町内会等、限られた地域の洪水リスクや水位情報の確認方法の周知【継続】	町内会等、限られた地域毎での特性を反映した、各地での洪水リスクや避難方法について広報誌等により周知する。	継続的に実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	● 東北地整	活用	
5 現行	・ダムや堤防等の施設の機能に関する情報提供の充実【継続】	ダム管理所・河川事務所共同で下流地域における出前講座の実施やSNS等を用いた広報の拡充	【国】実施中 【県】今後実施を検討	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	● 東北地整	参加	【国】出前講座や説明会を実施。 【県】今後実施を検討。 ⇒継続
5 更新（案）	ダムや堤防等の施設の機能に関する情報提供の充実【継続】	ダム管理所・河川事務所共同で下流地域における出前講座の実施やSNS等を用いた広報を実施する。	継続的に実施	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	● 東北地整	参加	
6 現行	・基準水位や過去洪水における水位などの表示の増設・広報の充実【拡大】	・護岸や量水板、排水機場などに、基準水位や過去洪水における水位の表示を行い、河川管理の見える化を推進すると共に、その表示について広報する。	実施中 （今後実施を検討）	○	●	○	○	●	○	●	●	○	○	－	○	ー	● 東北地整	活用	【市町村】一部の市町村で橋脚や観測所等に基準水位や過去洪水の痕跡の表示を実施。 【国】橋脚や観測所等に基準水位や過去洪水の痕跡の表示を実施。 ⇒継続
6 更新（案）	基準水位や過去洪水における水位などの表示の増設・広報の充実【継続】	護岸や量水板、排水機場などに、基準水位や過去洪水における水位の表示を行い、河川管理の見える化を推進すると共に、その表示について広報する。	継続的に実施	○	●	○	○	●	○	●	●	○	○	－	○	ー	● 東北地整	活用	
7 現行	・小学生等を対象とした防災・河川教育の取り組み強化【継続】	・学校の先生が、水災害に関する授業を実施するための、教材作成等を支援し、継続的な防災・河川教育を推進する。 ・出前講座の充実強化に加え、小学校等の授業の中で、防災・河川教育に取り組んでいく。	【学校授業】実施中 （今後実施を検討） 【出前講座】実施中 （今後実施を検討）	●	●	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	●	● 東北地整 気象庁	参加	【市町村】一部の市町村で教育機関（小中高等）の生徒や教員等に対し出前講座や講習会等を実施。 【県】【国】教育機関（小中高等）の生徒や教員等に対し出前講座や講習会等を実施。 ⇒継続
7 更新（案）	小学生等を対象とした防災・河川教育の取り組み強化【継続】	・学校の先生が、水災害に関する授業を実施するための、教材作成等を支援し、継続的な防災・河川教育を推進する。 ・出前講座の充実強化に加え、小学校等の授業の中で、防災・河川教育に取り組んでいく。	継続的に実施	●	●	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	●	● 東北地整 気象庁	参加	
8 現行	・自主防災組織等の育成や活動支援・連携強化【新規】	・各自治体において自主防災組織の育成を促す取組や、活動内容を支援、各自治体と連携を図り活動を支援する。	実施中 （今後実施を検討）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	－	●	●	● 東北地整	参加	【市町村】防災リーダー研修会の開催や防災士資格取得助成等を実施。 【県】自主防災組織リーダー研修会の開催や資機材整備に係る経費について、市町村への補助事業を実施。 【国】地域防災訓練等への参画等活動支援を実施。 ⇒継続
8 更新（案）	自主防災組織等の育成や活動支援・連携強化【継続】	各自治体において自主防災組織の育成を促す取組や、活動内容を支援、各自治体と連携を図り活動を支援する。	継続的に実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	－	●	●	● 東北地整	参加	
9 現行	・流域住民の防災意識向上を図り、実効的な避難を促すための防災訓練等の取組強化と広報展開【拡大】	・各自治体において自主防災組織への加入を促す取組や、危機意識の向上を図る啓発活動を実施する。 ・令和元年東日本台風をはじめとする過去洪水被害と、その教訓を風化させないための啓発活動を実施する。 ・あわせて本ビジョンに基づく取組の広報展開を図る。	実施中	●	●	●	●	●	●	●	●	●	－	●	●	● 東北地整 気象庁	参加	【市町村】自主防災組織や町内会、小学校等を対象とした出前講座や関係機関と連携して避難訓練を実施。 【県】「そなえる・ふくしま」として、体験コーナーやマイ避難シート作成コーナー等により防災への理解を深める防災イベントを開催。 【国】イベントとあわせたパネル展示や出前講座を実施。 ⇒継続
9 更新（案）	流域住民の防災意識向上を図り、実効的な避難を促すための防災訓練等の取組強化と広報展開【継続】	・各自治体において自主防災組織への加入を促す取組や、危機意識の向上を図る啓発活動を実施する。 ・令和元年東日本台風をはじめとする過去洪水被害と、その教訓を風化させないための啓発活動を実施する。 ・あわせて本ビジョンに基づく取組の広報展開を図る。	継続的に実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	－	●	●	● 東北地整 気象庁	参加	
■発災時の迅速かつ確実な避難に関する事項																		
10 現行	・支川や内水を考慮した洪水タイムライン（防災行動計画）の改善【拡大】	・支川や内水及び、避難勧告に着目した洪水タイムラインを検証し見直しを図る。 ・国は市町村のタイムライン策定に係る支援を行う。	実施中 （今後実施を検討）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	● 東北地整 気象庁	－	【市町村】一部の市町村で避難訓練等を踏まえタイムラインを改善。 【国】タイムライン防災講演会を開催。 ⇒継続
10 更新（案）	支川や内水を考慮した洪水タイムライン（防災行動計画）の改善【継続】	・支川や内水及び、避難指示等に着目した洪水タイムラインを検証し見直しを図る。 ・国は市町村のタイムライン策定に係る支援を行う。	継続的に実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	● 東北地整 気象庁	－	

○：実施予定 、●：実施中（実施済）、ー：対象なし

具体的な取組の柱	事項	主な内容	目標時期	関係機関															地域住民	R7までの達成状況（R7.11時点）
	具体的取組			福島市	郡山市	須賀川市	二本松市	伊達市	本宮市	桑折町	国見町	大玉村	鏡石町	矢吹町	玉川村	県	国			
11 現行	・「町内会版タイムライン」等、危機管理型水位計の活用を含めた地域毎の避難体制の策定・普及・訓練の実施【新規】	・バックウォーター等、地域の特性に応じて、危機管理型水位計を用いること等により地域毎の避難体制を策定・普及を行う。また、それに応じて訓練を行う。	実施中（今後実施を検討）	－	●	●	－	－	－	－	－	－	○	○	－	作成支援		活用	【市町】一部の市町で防災マップづくりを実施。 ⇒継続
11 更新（案）	「町内会版タイムライン」等、危機管理型水位計の活用を含めた地域毎の避難体制の策定・普及・訓練の実施【継続】	バックウォーター等、地域の特性に応じて、危機管理型水位計を用いること等により地域毎の避難体制を策定・普及を行う。また、それに応じて訓練を行う。	継続的に実施	－	●	●	－	－	－	－	－	－	○	○	－	作成支援		活用	
12 現行	・マイ・タイムラインにおける「住民一人ひとりのタイムライン」の普及・促進の実施【新規】	・マイタイムライン等の講習会など、普及を行うことにより、市民の活用を促す。	実施中（今後実施を検討）	●	●	●	●	－	●	●	－	－	○	○	○	●	作成支援		活用	【市町村】一部の市町村で自主防災組織や町内会等を対象とした出前講座や広報誌により普及啓発を実施。 【県】福島県版マイ・タイムライン「マイ避難シート」作成促進のため、広報、マイ避難シート作成サイト公開、イベント、講習会等を実施。 【国】マイ・タイムライン講習会を実施。 ⇒継続
12 更新（案）	マイ・タイムラインにおける「住民一人ひとりのタイムライン」の普及・促進の実施【継続】	マイ・タイムライン等の講習会など、普及を行うことにより、市民の活用を促す。	継続的に実施	●	●	●	●	－	●	●	－	－	○	○	○	●	作成支援		活用	
13 現行	・地域防災計画及び地区防災計画の策定・更新【新規】	・各自治体等において、地域防災計画を策定し、都度更新する。 ・地区毎に地区防災計画を策定・検討する。	実施中（今後実施を検討）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	作成支援			【市町村】地域防災計画を策定、改訂を実施。 【県】県地域防災計画の更新を実施。 【国】県と各市の地域防災計画改定の支援を実施。 ⇒継続（必要に応じて更新）
13 更新（案）	地域防災計画及び地区防災計画の策定・更新【継続】	・各自治体等において、地域防災計画を策定し、都度更新する。 ・地区毎に地区防災計画を策定・検討する。	継続的に実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	作成支援			
14 現行	・要配慮者利用施設の避難確保計画の策定・指導【新規】	・水防法に義務づけられている要配慮者施設の避難確保計画について策定すると共に、自治体は指導を行う。	実施中（今後実施を検討）	●	●	●	●	●	●	●	●	－	●	－	－	作成支援			【市町】要配慮者利用施設における避難確保計画の作成を支援、対象施設の洗い出しを実施。 【国】「要配慮者利用施設の避難確保計画作成に向けた講習会開催マニュアル」改訂を実施。 ⇒継続（必要に応じて更新）
14 更新（案）	要配慮者利用施設の避難確保計画の策定・指導【継続】	水防法に義務づけられている要配慮者施設の避難確保計画について策定すると共に、自治体は指導を行う。	継続的に実施	●	●	●	●	●	●	●	●	－	●	－	－	作成支援			
15 現行	・広域避難や分散型避難も含めた、避難の体制・施設・情報周知に関する強化、訓練の実施【新規】	・感染症等も考慮した、広域避難や分散型避難について検討すると共に、避難の体制や施設、訓練、情報周知のあり方について強化する。	実施中（今後実施を検討）	●	●	●	●	●	●	●	●	－	●	－	－	－	－		【市町】分散避難を踏まえた避難収容スペースの見直し、避難所開設訓練の実施、備蓄品の充実を実施。 ⇒継続
15 更新（案）	広域避難や分散型避難も含めた、避難の体制・施設・情報周知に関する強化、訓練の実施【継続】	感染症等も考慮した、広域避難や分散型避難について検討すると共に、避難の体制や施設、訓練、情報周知のあり方について強化する。	継続的に実施	●	●	●	●	●	●	●	●	－	●	－	－	－	－		
16 現行	・ホットラインの体制確認及び伝達内容・方法の充実【拡大】	・避難勧告等の発令判断の一助となるよう、過去洪水における水位-雨量-避難勧告等の実績を整理し共有を図る ・テレビ電話等、ホットラインの実施方法について拡充する。	実施中	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	● 東北地整 気象庁	－	【市町村】【県】【国】出水期前にホットライン体制確認を実施。洪水対応演習でホットライン訓練を実施。 ⇒継続
16 更新（案）	ホットラインの体制確認及び伝達内容・方法の充実【継続】	・避難指示等の発令判断の一助となるよう、過去洪水における水位-雨量-避難指示等の実績を整理し共有を図る ・テレビ電話等、ホットラインの実施方法について拡充する。	継続的に実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	● 東北地整 気象庁	－	
17 現行	・過去洪水における水位状況を踏まえた避難可能道路等、避難に資する情報の可視化【拡大】	・洪水時に冠水し通行止めとなる道路などを、過去洪水の実績を踏まえながら整理し、洪水ハザードマップ等で住民等に公表すると共に、市民の避難の一助としてもらう。	【ハザードマップ等対応】実施中（今後実施を検討） 【冠水危険箇所】実施中（今後実施を検討）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	－	●	●	－		【市町村】【県】過去の浸水箇所や道路浸水箇所をハザードマップに明記し、公表。 ⇒継続（必要に応じて更新）
17 更新（案）	過去洪水における水位状況を踏まえた避難可能道路等、避難に資する情報の可視化【継続】	洪水時に冠水し通行止めとなる道路などを、過去洪水の実績を踏まえながら整理し、洪水ハザードマップ等で住民等に公表すると共に、市民の避難の一助としてもらう。	継続的に実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	－	●	●	－		
18 現行	・プッシュ型情報配信システムの運用等、災害情報伝達手段を充実させた積極広報【拡大】	・「リニューアル版・川の防災情報」や「地デジによる水位情報」などの更なる周知を図る。 ・SNSや防災無線等、災害関連情報の伝達手段の充実を図る。	実施中	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	－	●	●	● 東北地整		【市町村】SNSや防災アプリ等による災害情報の発信を開始。 【県】利用者の位置情報等を活用した、避難情報や災害情報のプッシュ通知機能を持つ防災アプリを令和6年3月にリリース。 【国】川の防災情報や水害リスクライン、ダムメールによる情報提供を実施。 ⇒継続
18 更新（案）	プッシュ型情報配信システムの運用等、災害情報伝達手段を充実させた積極広報【継続】	・「川の防災情報」や「地デジによる水位情報」などの更なる周知を図る。 ・SNSや防災無線等、災害関連情報の伝達手段の充実を図る。	継続的に実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	－	●	●	● 東北地整		
19 現行	・記者発表内容等の内容や用語の見直しを含めた、マスメディアと連携した情報発信【拡大】	・情報伝達者であるマスメディアと連携して、記者発表内容や情報提供サイト等の内容や表現内容を改善する	実施中（今後実施を検討）	－	●	－	－	－	－	●	－	－	－	－	－	●	● 東北地整		【市町】メディアと連携し、道路冠水情報等の情報発信やスタジオ開設の回線網を整備、防災情報発信等に関する協定締結。 【県】【国】メディア連携協議会を開催、参加。 ⇒継続
19 更新（案）	記者発表内容等の内容や用語の見直しを含めた、マスメディアと連携した情報発信【継続】	情報伝達者であるマスメディアと連携して、記者発表内容や情報提供サイト等の内容や表現内容を改善する	継続的に実施	－	●	－	－	－	－	●	－	－	－	－	－	●	● 東北地整		
20 現行	・気象情報発信時の水害時の情報入手のし易さを改善【拡大】	・気象庁にて、警報等における危険度の色分け表示 ・「警報級の現象になる可能性」の情報提供 ・メッシュ情報の充実化	実施中	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	● 気象庁		【国】警報（危険度分布）等の精度向上や危険度分布提供河川の拡充作業等継続実施。 ⇒継続
20 更新（案）	気象情報発信時の水害時の情報入手のし易さを改善【継続】	・気象庁にて、警報等における危険度の色分け表示 ・「警報級の現象になる可能性」の情報提供 ・メッシュ情報の充実化	継続的に実施	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	● 気象庁		
21 現行	・河川情報表示板等の増設及び表示内容の多様化【拡大】	・既存の9箇所の配置状況を周知し、表示内容について拡充を行う。	関係自治体と調整中	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	● 東北地整		【国】出水時等に「川に近づかないで」や「河川の増水に注意」等の表示を実施。 ⇒継続
21 更新（案）	河川情報表示板等の増設及び表示内容の多様化【継続】	既存の9箇所の配置状況を周知し、表示内容について拡充を行う。	継続的に実施	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	● 東北地整		
22 現行	・本川の背水影響が及ぶ区間も含めた「危機管理型水位計」及びCCTVカメラ,簡易型監視カメラの設置、周知による早期避難の促進【集約】	・危機管理型水位計、CCTVカメラ及び管理型監視カメラ等を増設し画像を提供し、関係自治体と連携し広報誌・HPなどへの掲載により、広く一般の方へ周知するとともに、洪水時の画像確認で早期避難の促進を図る。	実施中	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	－	●	●	● 東北地整		【市町村】【県】【国】危機管理型水位計や簡易型監視カメラ等の整備・更新を実施。HPやYoutubeを通して一般の方へ周知を実施。 ⇒継続
22 更新（案）	本川の背水影響が及ぶ区間も含めた「危機管理型水位計」及びCCTVカメラ,簡易型監視カメラの設置、周知による早期避難の促進【継続】	危機管理型水位計、CCTVカメラ及び管理型監視カメラ等を増設し画像を提供し、関係自治体と連携し広報誌・HPなどへの掲載により、広く一般の方へ周知するとともに、洪水時の画像確認で早期避難の促進を図る。	継続的に実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	－	●	●	● 東北地整		

○：実施予定 、●：実施中（実施済）、－：対象なし

具体的な取組の柱	事　項	具体的取組	主な内容	目標時期	関係機関 福島市	郡山市	須賀川市	二本松市	伊達市	本宮市	桑折町	国見町	大玉村	鏡石町	矢吹町	玉川村	県	国	地域住民	R7までの達成状況（R7.11時点）
②発災時に人命と財産を守る『水防活動』の強化																				
	■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化																			
	23 現行	・水防団や地域住民が参加し、水害リスクの高い箇所の共同点検結果の活用【拡大】	・「避難を促す緊急行動」として実施した住民参加型の共同点検を、今後の重要水防箇所合同巡視の実施時にも継続して実施し、結果を水防活動に役立てる。	今後も引続き実施	●	●	●	●	●	●	●	●	－	●	－	●	●	● 東北地整	参加	【市町村】【県】【国】重要水防箇所等の合同点検を、国・県・市町村・地元水防団と合同で毎年出水期前に実施。 ⇒継続
	23 更新（案）	水防団や地域住民が参加し、水害リスクの高い箇所の共同点検結果の活用【継続】	「避難を促す緊急行動」として実施した住民参加型の共同点検を、今後の重要水防箇所合同巡視の実施時にも継続して実施し、結果を水防活動に役立てる。	継続的に実施	●	●	●	●	●	●	●	●	－	●	－	●	●	● 東北地整	参加	
	24 現行	・充分な水防資機材の整備と確保【継続】	・水防活動等に必要な資機材のストック状況の確認、必要数の整備と確保を行う	今後も引続き実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	－	●	●	● 東北地整	参加	【市町村】【県】【国】水防活動等に必要な資機材のストック状況の確認、整備、確保。 ⇒継続
	24 更新（案）	充分な水防資機材の整備と確保【継続】	水防活動等に必要な資機材のストック状況の確認、必要数の整備と確保を行う。	継続的に実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	－	●	●	● 東北地整	参加	
③一刻も早く日常生活を取り戻すための『排水活動』等の強化																				
	■排水計画（案）の作成及び排水訓練の実施																			
	25 現行	・国と市町村の合同で排水ポンプ車等の操作訓練実施【継続】	・排水ポンプ車等の訓練に際して県市町村へも案内を行うとともに、実際に設置訓練にも参加するものとする。 ・必要に応じ、排水施設の整備等を図る。	今後も引続き実施	●	●	●	●	●	－	●	●	－	○	－	○	－	● 東北地整	－	【市町】【県】【国】合同で排水ポンプ車の操作訓練を実施。 ⇒継続
	25 更新（案）	国と市町村の合同で排水ポンプ車等の操作訓練実施【継続】	・排水ポンプ車等の訓練に際して県市町村へも案内を行うとともに、実際に設置訓練にも参加するものとする。 ・必要に応じ、排水施設の整備等を図る。	継続的に実施	●	●	●	●	●	－	●	●	－	○	－	○	－	● 東北地整	－	
	26 現行	・災害対策機械の適切な配置検討、増強及び機動的かつ広域的な運用【継続】	・管内各拠点へ分散配備することで、災害時に迅速な対応を行っている。また、県を越えての広域的な運用も行っている。	今後も引続き実施	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	● 東北地整	－	【国】排水ポンプ車の広域運用を実施。 ⇒継続
	26 更新（案）	災害対策機械の適切な配置検討、増強及び機動的かつ広域的な運用【継続】	管内各拠点へ分散配備することで、災害時に迅速な対応を行う。また、県を越えての広域的な運用も行う。	継続的に実施	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	● 東北地整	－	
	27 現行	・各自治体での排水ポンプ場の運転調整ルールの策定【新規】	・自治体において、排水ポンプ場の運転調整ルールが未策定の施設があるため、運転調整ルールを策定する。	今後実施を検討	－	●	－	－	－	－	●	－	－	●	－	－	－	－	－	【市町】操作員マニュアルや操作要領改正を実施。 ⇒継続
	27 更新（案）	各自治体での排水ポンプ場の運転調整ルールの策定【継続】	自治体において、排水ポンプ場の運転調整ルールが未策定の施設があるため、運転調整ルールを策定する。	継続的に実施	－	●	－	－	－	－	●	－	－	●	－	－	－	－	－	
	28 現行	・排水作業準備計画の作成【継続】	・長期間浸水が継続する地区等において、排水作業準備計画を作成		－	－	－	－	－	－	－	－	－			－	－	● 東北地整	－	【国】浸水リスクが高い6箇所で策定。 ⇒完了

○：実施予定　、●：実施中（実施済）、－：対象なし